

# 三菱ハウジングエアコン 別売 ドレンアップメカ 形名 MAC-861DM 据付工事説明書

販売店・工事店さま用

この製品の性能・機能を十分に発揮させ、また安全を確保するために、正しい据付工事が必要です。  
据付工事の前に、この説明書と室内機の据付工事説明書を必ずお読みください。

- このドレンアップメカはMTZ-22〇〇AS/25〇〇AS/28〇〇AS/36〇〇AS/45〇〇ASおよびMTZ-22〇AS/25〇AS/28〇AS/36〇AS/45〇AS機種専用です。※形名の「〇〇」には、数字が入ります。
- ドレン配管の下りこう配が十分確保できない場合にお使いください。
- 据付ける前に本説明書と室内機の据付工事説明書をよくお読みください。

## 安全のために必ずお守りください

- ご使用前に、この「安全のために必ずお守りください」をよくお読みのうえ据付けてください。
- ここに示した注意事項は、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- 据付工事終了後、この据付工事説明書をお客さまにお渡しください。



### 警告

(誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷などの重大な結果に結びつく可能性があるもの)

■“図記号”の意味は次のとおりです。



■据付けは、お買上げの販売店または専門業者に依頼する。  
据付けには専門の知識と技術が必要です。  
お客さま自身で据付工事をされ不備があると、水漏れや感電・火災・ユニットの落下によるケガの原因になります。



■据付けは、据付工事説明書に従って確実に進行。  
据付けに不備があると、水漏れ・感電・火災・ユニットの落下によるケガの原因になります。



■据付時、安全のため、適切な保護具・工具を使用する。  
ケガの原因になります。

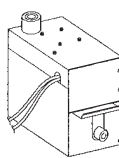

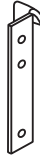







■据付けは、重量に十分耐える所に確実に進行。  
強度の不十分な所に据付けると、ユニットが落下し、ケガなどの原因になります。



■据付工事部品は、必ず当社付属部品および指定の部品を使用する。  
当社指定部品を使用しないと、水漏れ・感電・火災・ユニットの落下によるケガの原因になります。

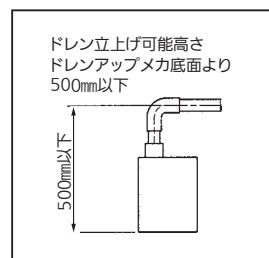
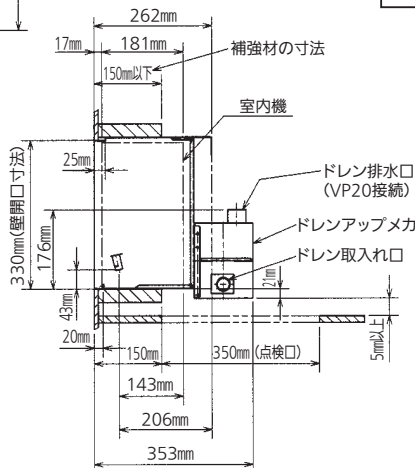
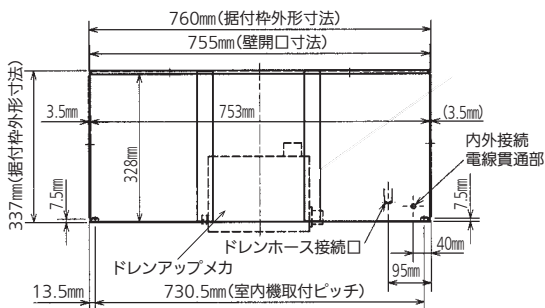
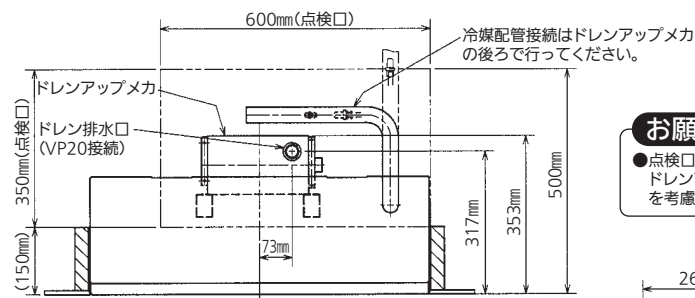
## 1 使用部品

	①	②	③	④
部品	ドレンアップメカ 	固定金具(A) 	固定金具(B) 	固定金具(C) 
個数	1	1	1	2
	⑤	⑥	⑦	⑧
部品	②～④の固定ネジ  4×10	ドレンホース 	パイプカバー 	バンド 
個数	18	1	1	1

- 現地で準備していただく部品（一般市販部品）
  - ① 硬質塩ビパイプ一般管VP20(外径φ26)
  - ② 塩ビ系接着剤
  - ③ 断熱材(発泡ポリエチレン比重0.03、肉厚10mm以上)

## 2 設置構成図および設置スペース必要寸法

必ず点検口より作業するようにしてください。

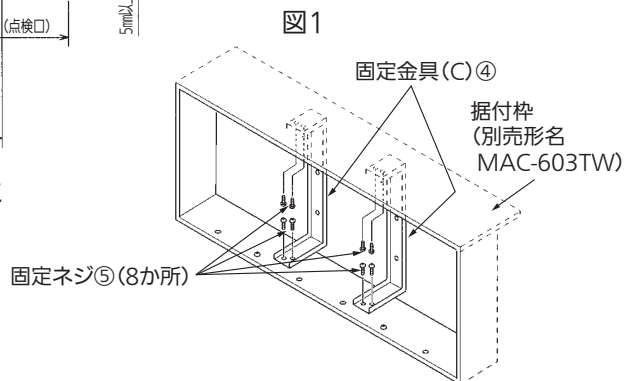


### お願い

- 点検口は冷媒配管接続作業とドレンアップメカのサービスを考慮した大きさです。

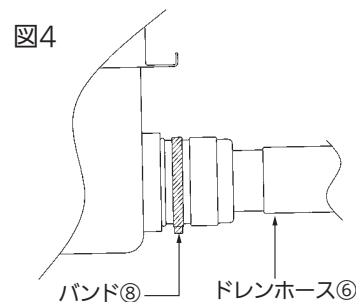
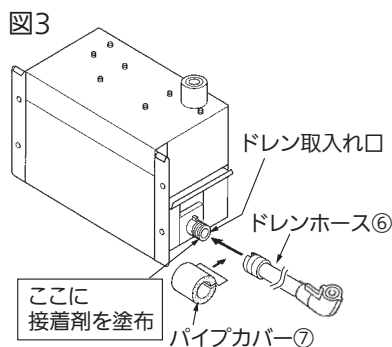
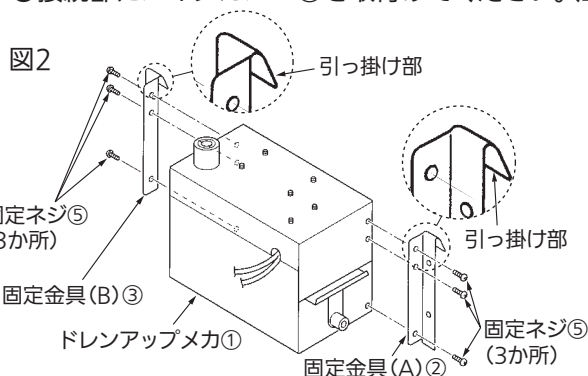
## 3 固定金具(C)の取付け

- 図1のように固定金具(C)④を据付枠(別売形名 MAC-603TW)に取付けてください。



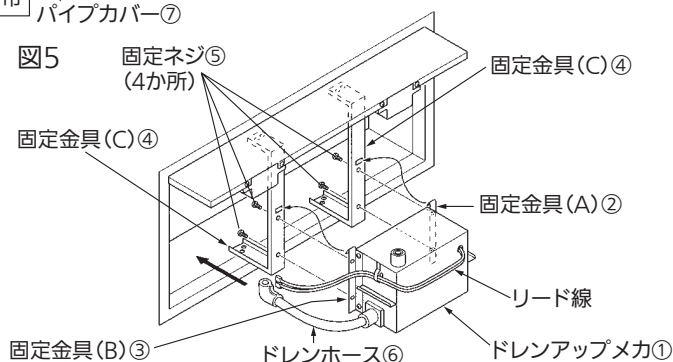
## 4 取付け前の準備

- 固定金具(A)②・(B)③を引っ掛け部が上側になるようにドレンアップメカ①に取付けます。(図2参照)
- ドレン取入れ口の接続部に塩ビ系接着剤⑧を十分塗布し、ドレンホース⑥をドレンアップメカ①のドレン取入れ口の根元まで確実にはめ込んで接着してください。その際、ドレンホース⑥の向きは室内機接続側が上を向くように接続してください。(図3参照)
- 接着後、付属のバンド⑧で固定してください。(余った部分はカットしてください)(図4参照)
- 接続部にパイプカバー⑦を取付けてください。(断熱処理を確実に行ってください)(図3参照)



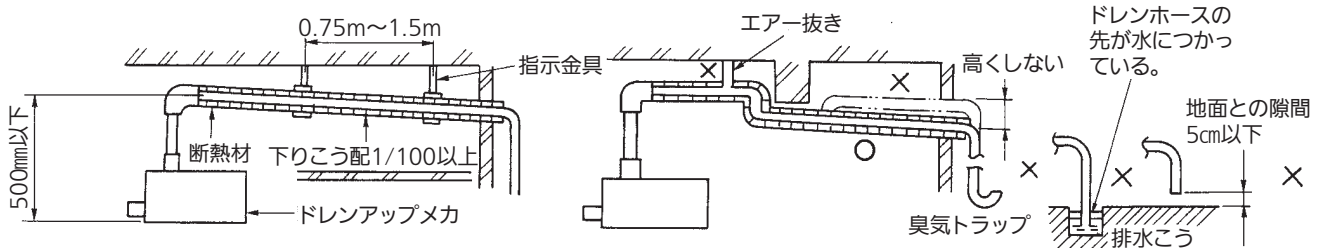
## 5 ドレンアップメカの取付け

- ドレンアップメカ①を固定金具(C)④に引っ掛けた後、固定ネジ⑤で固定してください。
- ドレンホースの室内機接続側を据付枠の中に入れます。
- リード線2本を図5のようにあわせ据付枠の中に出しておきます。

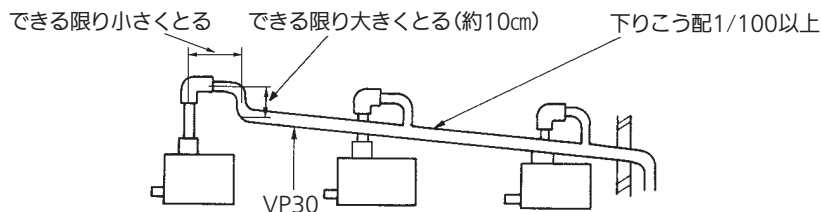


## 6 ドレン配管の接続

- ドレン配管の接続は硬質塩ビパイプ一般管VP20(外径φ26)④を使用し配管部は必ず塩ビ系接着剤⑤にて漏れないように行ってください。
- ドレンパイプには必ず市販の断熱材(発泡ポリエチレン比重0.03、肉厚10mm以上)⑥を巻いてください。
- ドレン配管は室外側(排水側)が下りこう配(1/100以上)となるようにし、途中にトラップや山越えを作らないようにしてください。
- ドレン配管の横引きは20m以下にしてください。また、ドレン配管が長い場合には途中に支持金具を設けてドレン配管の波打ちをなくしてください。
- エア抜き管は絶対につけないでください。(ドレンが吹出場合があります)
- ドレン配管の排水口部の臭気トラップは必要ありません。



- 集合配管の場合下図のように、本体のドレン出口部より約10cm位低い位置に集合配管がくるようにし、かつ集合配管はVP30程度のもので下りこう配1/100以上になるように施工してください。



- ドレン配管の出口高さは、ドレンアップメカ底面より500mmまで高くさせることができますので天井内に障害物がある場合にはエルボ等を用いて施工してください。この場合、立ち上がるまでの距離が長いと運転停止時におけるドレン逆流量が多くなり、オーバーフローのおそれがありますので上図寸法内で処理してください。
- ドレン配管の出口は臭気の発生するおそれのない場所に施工してください。

## 7 室内機の設置

室内機設置の詳細については、室内機の据付工事説明書をご覧ください。

- 室内機の冷媒配管を曲げて(90°回転)ください。(図6参照)
- ドレンホース⑥とリード線に注意し、室内機を据付枠に固定します。
- ドレンホース⑥を室内機の接続口に隙間がないように接続します。(図7参照)

**お願い**

室内機に付属しているドレンホースは使用しないでください。

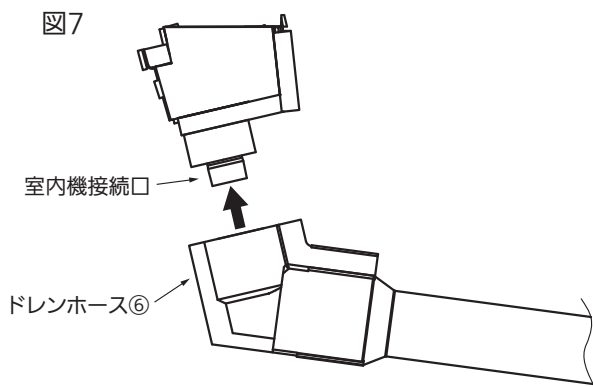
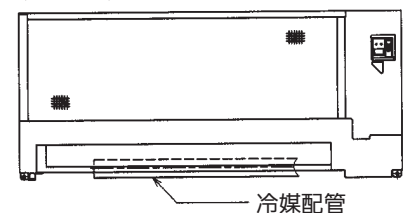
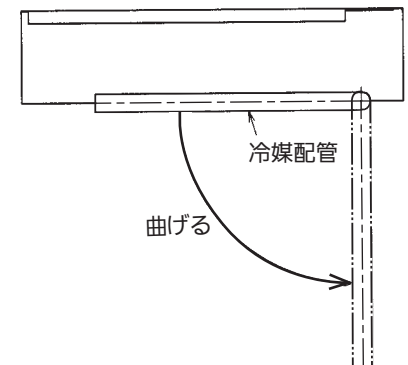


図6

(正面図)



(下面図)



## 8 ドレンアップメカの配線接続

接続はエアコン用ブレーカーを「切」にしてから行ってください。

- ドレンアップメカ①から出ているドレンポンプとドレンセンサーのリード線をドレンアップメカ①の側面にあるクランプに固定し、ドレンホース⑥とともに、室内側に入れます。(図8参照)

静電気による制御基板の破損防止のため、必ず静電気除去を行ってから作業してください。

- 室内機の電気品カバー(1)と(2)を取外します。(図9参照)
- 制御基板(3)を引き出してください。(図9参照)
- ドレンポンプ(3ピンのコネクタ)を制御基板上のコネクタCN1N1(白色)へ接続します。(図10参照)
- ドレンセンサー(7ピンのコネクタ)を制御基板上のコネクタCN1M1(白色)へ接続します。(図10参照)
- コネクタのロックがカチッとハマるまでしっかり押込んで接続してください。
- 接続作業が終わりましたら、制御基板を元の位置に戻し電気品カバー(1)と(2)を取付けてください。

図8 (背面)

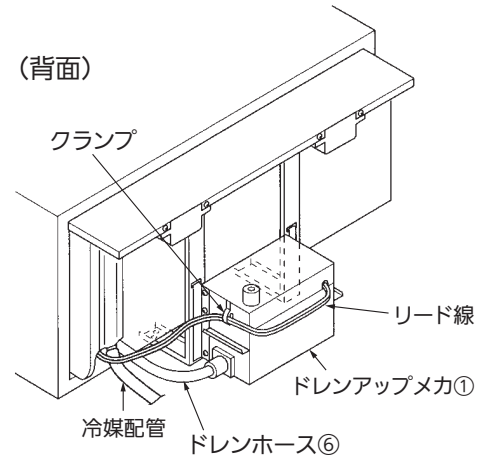


図9 (正面)

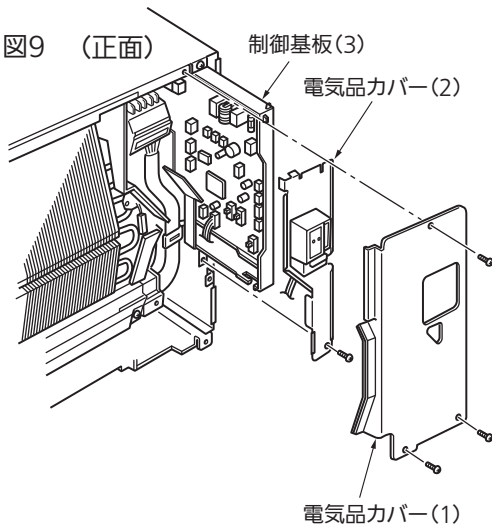
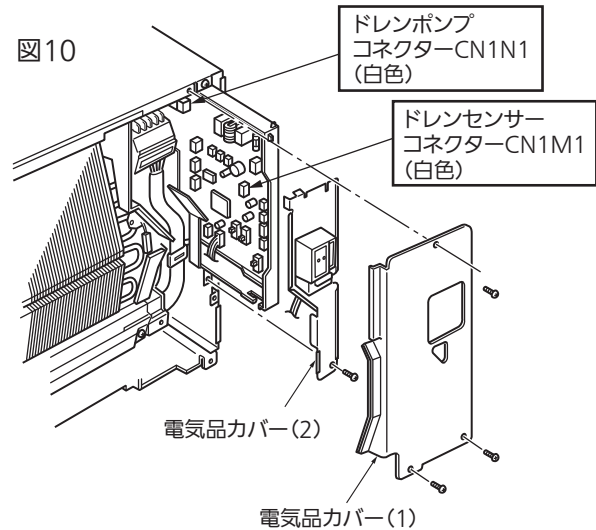


図10



## 9 試運転

ドレンアップメカの取付けおよびドレン配管施工完了後、排水が確実に行われていることと、接続部からの水漏れがないことを確認してください。

- 室内機の据付工事説明書の (試運転) の項と合わせて作業を行ってください。
- 試運転(冷房運転)をはじめる前に、配線が確実に行われているかもう一度確認してください。
- 図11のように、ドレンパンへ300cc~400ccの水を流してドレンアップメカが作動し、正常に排水するか確認してください。(水を入れすぎるとドレンアップメカよりあふれるので400cc以下にしてください)

室内機のみでドレン排水チェックをしたい場合

配線工事ができていないときは、室内端子台S1,S2に单相200V電源を接続して行ってください。

- |  |   |
|--|---|
| (1)ドレンポンプ試運転モード                              | (2)ドレンポンプ試運転モード停止                           |
| ●応急運転スイッチを5秒長押し(ピッと鳴るまで)にて、ドレンポンプ単独運転を開始します。 | ●応急運転スイッチをもう一回押すと停止します。そのままでも、15分後に自動停止します。 |

図11

